

2024  
令和6  
秋号

No.225 9月議会特集

3月 6月 9月 12月



じょうえつ市議会だより



7/21

大潟コミュニティプラザ  
(16人参加)



7/22

浦川原コミュニティプラザ  
(8人参加)



7/31 コワーキングスペース bibit (19人参加)

11月にも意見交換会を開催します！  
詳しくは裏表紙をご覧ください！



bibit って？

個人や事務所が打合せや作業等を行える場所で、2022年1月に本町商店街にオープンしました。

特集

# 市民と議員で話そう！ みんなの声がまちを変える

7月に市民と議員の意見交換会「ご意見を聴く会」と「議員と気軽にトーク」を開催しました。

# 43人

参加者数

- 初参加率 63% / 30代以下 13% / 男女比 7:3
- 参加目的  
 議員の考えを聞きたい 45% / 議員に質問や意見がある 40%  
 議会に関心がある 38% / 他の参加者の意見を聞きたい 35%
- 議会活動で知りたいこと  
 一般質問後の対応 35% / 市の提案に対する質疑 30% / 一般質問の背景 23%

bibit

# 84項目

いただいた意見

議会の対応方針が決まりました！

- ①委員会等で対応する (18件)  
 (内訳：常任委員会 総務8件、厚生1件、農政建設1件、文教経済2件 / 特別委員会 人口減少社会対策1件、観光振興対策3件 / 広報広聴委員会2件)
- ②行政側に伝える (27件)
- ③全議員に伝える (41件)  
 ※対応方針は重複するものがあります。

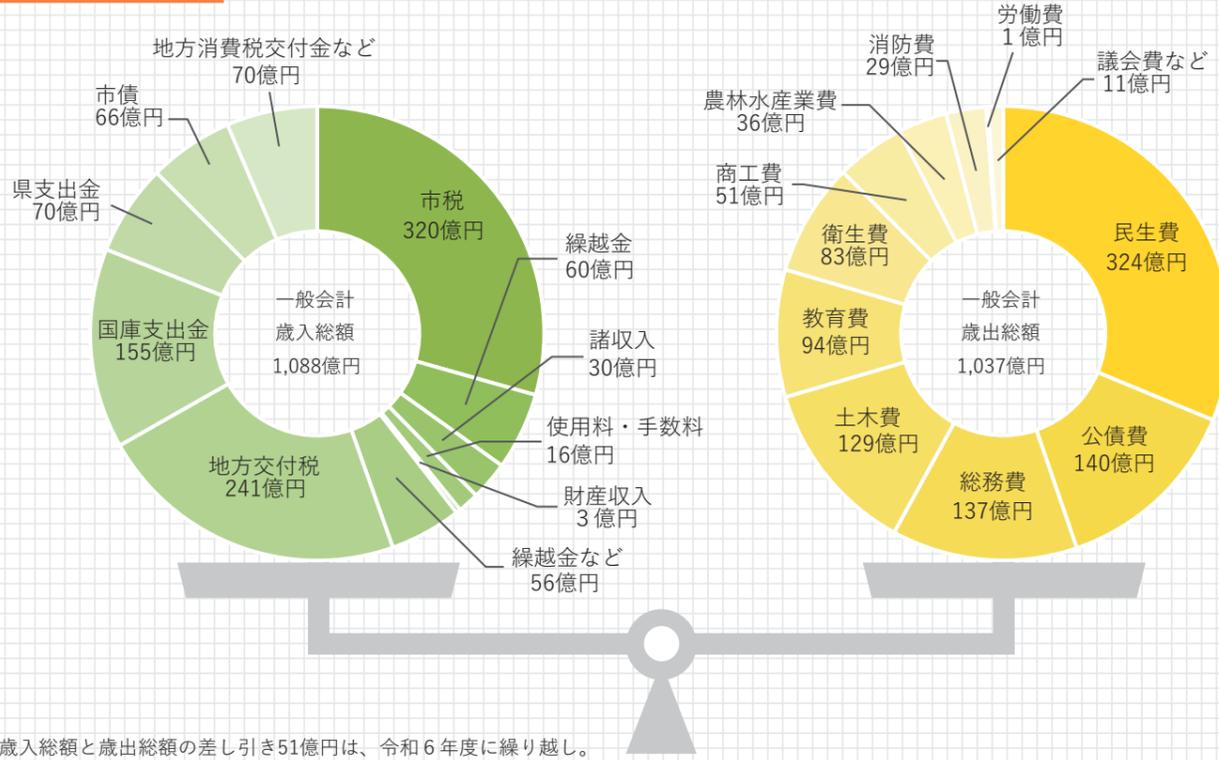
【対応方針の例】

- ◆ 鶴の浜温泉の集客をもっとすべし！ → 観光振興対策特別委員会で対応します
- ◆ 高齢者の支援制度についてもっとPRを！ → 行政側に伝えます
- ◆ 通年議会の話が出ているけど、今後どうなるの？ → 全議員に伝えます

いただいた意見や対応方針は、すべてホームページに掲載しています。



# 1,088 億円は使われた？



※歳入総額と歳出総額の差し引き51億円は、令和6年度に繰り越し。  
※表記単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。

市民1人当たり約56万円の歳出となった、令和5年度決算。新議員にとっては、初めての決算審議となりましたが、疑問点など率直な意見が交わされました。11月に議会報告も兼ねた意見交換会を開催します。ぜひ、あなたの意見をお聞かせください！

※詳細は裏表紙をご覧ください。



# 9月定例会

通称“決算議会”

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、9月定例会の内容をお届けします。

9月定例会は、主に前年度の決算を審議する“決算議会”と称されており、事業の成果や今後の課題などについて審議しました。

## 9月定例会の流れ

- 1 市長による議案の提案説明** 9/2㊟
- 2 総括質疑** 9/2㊟  
提案された議案に対し議員が質疑を行う
- 3 委員会付託** 9/2㊟  
4つの常任委員会に審査を付託することを決定
- 4 常任委員会** 9/4㊟～13㊟  
総務・厚生・農政建設・文教経済常任委員会に分かれて審査
- 5 一般質問** 9/18㊟～20㊟  
議員が市政全般にわたって質問し、市の見解を聞く（関連記事10ページ）
- 6 委員長報告** 9/26㊟  
各常任委員会での審査結果を全員で共有
- 7 討論** 9/26㊟  
議案等に対して賛成か反対かを表明し、同調を呼びかける（関連記事8ページ）
- 8 採決** 9/26㊟  
議案等の可否を決定（関連記事9ページ）

## 02 point 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊が居住する空き家の改修経費等の一部を支援しました。補助金額は393万円となりました。

議員のQ & 市のA

- Q** 隊員の希望に沿った住環境整備を！
- A** 行政としてできることを一つ一つ取り組む。

- 議員／任期終了後の定住につなげるため、住環境整備など最大限支援することが行政の仕事だ。
- 総合政策部／地域おこし協力隊は国の制度ではあるが、隊員を受け入れる市として、できることは一つ一つやりたい。



## 01 point 財政健全化

令和5年度決算は、財政健全化判断比率の4指標が警戒ラインを下回りました。特に以下の3指標は、前年度より改善しました。

- ・実質公債費比率：10.9%（前年度比-0.3ポイント）
- ・将来負担比率：58.6%（前年度比-2.8ポイント）
- ・経常収支比率：92.4%（前年度比-2.2ポイント）

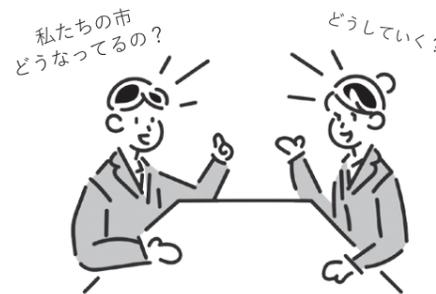
議員のQ & 市のA

- Q** 財政が健全化した要因は？
- A** 市債残高の減少に取り組んできたため。

- 議員／エネルギー価格や物価の高騰、様々な災害が相次いだにもかかわらず、実質公債費比率、将来負担比率、経常収支比率がいずれも改善したとあるが、その要因は何か。
- 市長／償還を上回る借入れとならないように留意するなど、市債残高の減少に取り組んだためである。

## 議員の Q & 市の A

総括・委員会質疑  
議会は議案のココに注目！





08 point 水族博物館整備運営基金

= うみがたりを整備、運営するための市の貯金

議員のQ & 市のA

Q 基金残高が減っているが問題はないか？

A 来館者数は回復傾向にあり、  
今後は基金の積み増しもあると考えている。

- 議員／基金の残高が減少しているが、今後の施設改修等に対して、準備基金はこれで十分なのか。
- 教育委員会／エネルギー価格の高騰などで、残高が減少したが、来場者数が回復傾向にあることや、うみがたりを応援するふるさと納税の活用などで、今後は基金の積み増しもあると考えている。



10 point 防災行政無線

工事請負契約の締結

防災行政無線システムの設備更新と新システムの整備、津波浸水想定区域などへの高性能スピーカー設置工事に関する契約の締結が提案されました。提案された契約額は約 26 億円です。

議員のQ & 市のA

Q 事業者選定のプロポーザルではどの事業者も評価点が7割に達していないが問題はないか？

A いずれの事業者も全国的に実績がある一流のノウハウを持った企業である。

09 point 観光アプリ

観桜会の来訪者を対象に、LINEアプリを活用したスタンプラリーを実施しました。

議員のQ & 市のA

Q アプリの利用状況は？

A 約 700 人がアプリの利用登録をした。

Q アプリ導入の効果は？

A 観光客の動向データを取得することでデータに基づいた取組が可能となった。

05 point 民生委員

民生委員の活動を支援することで、地域福祉の推進を図りました。

議員のQ & 市のA

Q 国が民生委員の制度改正を進める中、民生委員のあり方で検討していることは？

A 協力員を配置するなど本市の実情に見合った内容で検討したい。



06 point 公共用水域の水質調査

河川・海域・湖沼・地下水の水質等を測定し、公共用水域の水質保全を図りました。

異常なし！



議員のQ & 市のA

Q 有機フッ素化合物は市の水質調査の対象に含まれているのか？

A 調査対象に含まれており調査結果は基準値より低い値である。

07 point 上下水道管の耐震化

議員のQ & 市のA

Q 水道管の耐震化を前倒しで進めるべきでは？

A 水道管の更新基準年数を前倒して更新する計画である。

Q 公共下水道の耐震化計画の策定は？

A 現在、計画策定を進めている。

Q 公共下水道の耐震化率は？

A 耐震化率は約 50% である。



03 point 保育園の統合

11の公立保育園が3つに統合される予定です。

- 大和、和田、三郷
- 戸野目、上雲寺、高士、諏訪
- 柿崎第一、柿崎第二、上下浜、下黒川



議員のQ & 市のA

Q 8つの園が無くなっても現在の保育士の人数は維持されるのか？

A 今の保育士数を維持しながら各園の規模やクラス配置を考えていく。

04 point 2割園芸

2割園芸…農地の効率的な利用と高収益化を目的に新潟県等で進められている施策で、ほ場整備事業の新規着工地区において、面積の2割以上を野菜などの園芸作物の栽培に充てることを指します。

議員のQ & 市のA

Q 当市の土壌は水稻に向いているが2割園芸のルールを続けていくのか？

A これまでの取組を振り返り必要に応じて県と意見交換したい。

- 議員／県は2割園芸を進めているが、上越市の土壌は水稻作付に向いていることから、2割園芸の取組を進めるべきではないと考えるがどうか。

- 農林水産部／大区画ほ場で水稻と競合しない枝豆やカリフラワーなどを作付することで、農業者の所得が安定すると考えている。これまでの取組を振り返り、必要に応じて県と意見交換をしたい。



枝豆は上越野菜に認定されています。

審

議

結

果

7月臨時会

○：賛成多数で可決 ×：全員反対で否決

Table with 4 columns: 議案等名, 議決結果, 議案等名, 議決結果. Includes items like 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について and 中川幹太市長に対する辞職勧告決議について.

9月定例会

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決 ×：賛成少数で否決

Table with 4 columns: 議案等名, 議決結果, 議案等名, 議決結果. Lists various budget and ordinance items with their respective decision outcomes.

賛否が分かれた議案、私はこう判断！

○：賛成 ×：反対 -：議長（渡邊隆）は発議案第10号を除き、採決に加わらない

Large table showing voting results for various council members across different proposals. Columns include member names and their votes (賛成, 反対, 無記名投票).

※市議会だより 2024 夏号の6月定例会審議結果 (P.9) において、請願第2号、請願第3号の議決結果を「○」と記載していましたが、正しくは「×」となります。訂正してお詫び申し上げます。

討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。討論の内容も踏まえて、採決に進みます。9月定例会では、発議案第10号ならびに市長提出議案に対して討論を行いました。



発議案第10号に対して 中川幹太市長に対する不信任決議案

賛成



本城議員 (市民クラブ)

歴代の市長が、上越市の発展のために努力して築き上げてきた歴史や歩みに、中川市長が汚点を残し、上越市政が後退していると感じる。1日も早い市政の安定を願い、賛成する。

賛成



平良木議員 (日本共産党議員団)

市民の信頼を失う発言を繰り返しており、そのことを指摘して反省を求めた議会の意思を尊重しない市長では、市民の暮らしを守れないと考えることから、賛成する。

賛成



宮越議員 (無所属)

辞任を求める市民の声が大きくなっており、市長職を続投することは理解できない。辞任により、上越市が大きく発展することを期待し、賛成する。

反対



安田議員 (久比岐野)

市長の失言は不適切だが、議会としてはしっかりと市長や行政運営を監視し、市民のために市政を前に進める必要がある。苦渋の決断ではあるが、市民生活を考えて反対する。

市長提出議案に対して

賛成



石田議員 (みらい)

エネルギー価格や物価の高騰、猛暑・渇水による農業被害、能登半島地震など大変な状況が続いた中、市民の命と暮らしを守ることを最優先に、財政調整基金を最大限に活用して市政運営に取り組んだことを高く評価し、全議案に対して賛成する。

反対



平良木議員 (日本共産党議員団)

物価高騰に対する市の支援は十分とは言えず、学校給食の民間委託の拡大なども問題である。また、特別会計では、高い介護保険料の負担が、市民の暮らしを圧迫していることから、決算認定を始めとする全6議案に対して反対する。

7月臨時会 (7月19日)

●市長から、自身の不適切発言により市政に対する信頼を損ねた責任を重く捉え、給料の全額を5か月間減額する条例改正案等が提出されましたが、全会一致で否決されました。

●議員から、中川幹太市長に対する辞職勧告決議案が提案され、賛成多数で可決されました。

各議員の賛否は

次ページをご覧ください。



反対



宮越議員 (無所属)

労災病院の一部機能移転に伴う補正予算については、診療体制の基本的な構想を固めることを優先すべきと考えることから、議案第104号に対して反対する。

# 97の視点

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、14人が登壇し、97の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。



皆さんは、どのテーマに関心がありますか？

● 人口減少対策 / mRNAワクチン	} 11 ページ
● 日本桜庭園上越構想 / トップリーダーの資質、責任	
● 書かない窓口 / 公の施設の維持管理 / 市長定例記者の動画配信	
● mRNAワクチン	} 12 ページ
● 市長の政治姿勢	
● 広域観光 / リゾート開発構想への対応	
● 上越妙高駅周辺環境、都市基盤 / 通年観光計画	} 13 ページ
● 地域資源をいかした観光施策 / 米山登山道 / 柿崎区新保育園	
● 保健センター / 健康づくりポイント事業	
● 行政改革の推進	} 14 ページ
● 保倉川放水路の整備	
● 学校給食	
● 学校の情報環境の整備状況 / 部活動の地域移行	} 15 ページ
● 市長の不適切発言	

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



分散型社会の実現が人口減少対策の基本  
櫻庭 節子（みらい）



**問**／人口減少対策として、子育ての前段階にある「結婚支援」に向けた雇用の安定化と、東京一極集中を避けるための分散型社会の実現をしっかりと国に要望することが重要ではないか。

**答**／国では若い世代の所得増加や、雇用の安定に向けた取組を進めている。また、東京一極集中を是正するため、地方移住や企業の地方移転、地方大学・高校の魅力向上等を掲げており、全国市長会などからも国に対する要望・提言がなされている。当市も、より魅力ある地域づくりによって若い世代から選ばれるよう、財政的な支援も含めて国に要望を続けていく。

**mRNAワクチンに対する注意喚起を**

**問**／新型コロナウイルス感染症で接種を奨励されたmRNAワクチンの特異性と危険性が、多くの識者や医療関係者から指摘されている。ワクチンによる重度の副反応だけではなく、同じ接種数においてmRNAワクチンでは、コロナワクチン以外と比較して、約26倍もの死亡者が出ているが、政府もメディアも明らかにしないことは不自然だ。超過死亡数も異常に増加しているが、これらへの市長の所見を伺う。

**答**／国は超過死亡を認めていない。令和6年10月から実施予定の定期接種に関しては、接種効果と副反応の双方を市民に正しく伝えていく。



提言「日本桜庭園上越構想」  
丸山 章（無所属）



**問**／高田平野は関川とその支流からなる複合扇状地で、しかも妙高連峰等の山々や海等、豊かな自然が織りなす圧巻の特徴ある素晴らしいロケーションと、日本三大夜桜と称される高田城址公園の桜の付加価値を高めるべく、当市の木「桜」という観光資源により、当市全域を「日本桜庭園」化し、世界に誇れる「黄金の都市」づくりを目指す。日本・世界でこうした試みはないことから、注目度等も加速すると考えるがどうか。

**答**／高田城址公園や市内の桜の名所を合わせて、100年後も当市の桜が世界に誇る観光資源であり続けられるよう、取り組んでいく。構想の趣旨は十分理解するが、担い手などの課題があり、様々な方の意見を伺っていく。

**トップリーダーの資質・責任とは**

**問**／中川市長の度重なる不適切発言を受け、これ以上市政を任せられない、停滞させられないことから、辞職勧告決議案が8割を超える議員の賛同で可決された。正常な市政運営と市政発展のために身を引くべきではないか。

**答**／辞職勧告決議が可決されたことを重く受け止めているが、市民からは「これからも政策を着実に前に進めてほしい」など励ましの言葉もあった。日増しに期待に応えたい思いが強くなったことから、決意を持って職責を全うしたい。



各種証明書取得の負担軽減を！  
山田 忠晴（公明党）



**問**／住民票の写しなどの証明書取得における申請者等の負担軽減の観点から、「書かない窓口」を導入する考えはないか。

**答**／「書かない窓口」は、市民の利便性向上や負担軽減に繋がると認識しており、先進自治体の取組等を参考にしながら、導入に向けた取組を進めていきたい。

**公の施設の維持管理等の対応は**

**問**／施設を計画よりも早く修繕しなければならぬ場合や、緊急の修理が必要な場合の対応は。

**答**／施設所管課において、損壊・故障等の状況や利用者への影響などに十分配慮しつつ、緊急性や優先順位も踏まえた中で、修繕等が必要と判断した場合は、速やかに対応している。

**市長の定例記者会見の動画配信を**

**問**／市長の定例記者会見を撮影した動画をYouTubeで配信しているが、報道機関との質疑応答の部分は配信していない。市長の声が市民に伝わる大事な場面であるため、動画配信をする考えはないか聞きたい。

**答**／質疑応答に関しては、市のホームページにおいて文章で公表しているが、動画配信では考えや思いをより効果的に伝えることができると考えることから、実施に向けて検討していく。



**新型コロナワクチン  
副反応リスクの周知を**



**市長は辞職勧告決議を  
受けなぜ辞職しない！**



**広域観光を見据え、  
連携と対応の強化を！**



**問**／新型コロナワクチン（mRNAワクチン）接種後の副反応に関し、全国で予防接種健康被害救済制度を申請する人、重篤者、死者が激増している。この事実を市民に周知すべきではないか。

**答**／コロナワクチンに限らず、様々なワクチン接種の際に予防接種健康被害救済制度などを案内し、周知を図っている。必要であればホームページにも掲載していく。

**死亡認定数**

2024年9月2日公表分まで

**158件**  
**777件**

**審査未了  
381件**

認定 777件  
否認 329件

**予防接種健康被害救済制度**

※新型コロナワクチンを除く

**これまでの全てのワクチン**  
(期間：1977年2月～)

**新型コロナワクチン**  
(期間：2021年2月～)

※新型コロナワクチン「死亡」申請

**1,485件** →

※全国の数値



**来訪者をもてなすに  
ふさわしい環境とは？**



**問**／当市の土地利用構想で、上越妙高駅周辺は、「観光やビジネスを目的とした来訪者をもてなすにふさわしい環境整備や都市基盤の充実を図る」としているが、ふさわしい環境や都市基盤とは何か。

**答**／アクセス道路の整備を始め、新幹線との接続性の高い二次交通の確保、駐車場の設置などにより、交通結節点としての機能を強化してきた。また、観光案内所の配置を始め、ホテルや飲食物販施設、レンタカー営業所、更には立地特性をいかした1丁関連の企業進出を促進するための受け皿となるワーキング施設等の誘致など、駅利用者の利便性の確保や拠点性の向上に資する施設の集積を進め、玄関口にふさわしい環境整備に取り組んでいる。

**通年観光計画の進捗状況は**

**問**／令和6年度の通年観光計画の進捗状況は。

**答**／計画期間の初年度となる令和6年度においては、事業の準備を進める年と位置付け、各種の調査を通じて具体的な内容の検討を行うこととしており、これまで8件の調査業務委託の発注を完了し、委託業者との協議などを進めている。

**問**／冬季はどのような事業を計画しているのか。

**答**／春日山地域に、天候に左右されない屋内型の新たな観光拠点施設の整備を計画している。



**地域資源をいかした  
観光施策の推進を**



**問**／通年観光の取組において、市内各地に存在する歴史ある多くの地域資源を磨き上げ、市全体での誘客を目指すべきと考えるがどうか。

**答**／上越市観光交流ビジョンに基づき、市内各地の多様な地域資源の魅力向上に資する施策に取り組んでいく。

**米山登山道の維持管理への対応は**

**問**／米山登山道整備や山頂避難小屋・山頂トイレの維持管理を担ってきた「柿崎山岳会」が、令和7年度で解散するが、今後の維持管理体制についての市の考えは。

**答**／米山は、多くの市民から愛される大切な地域資源であり、「柿崎山岳会」が守り育ててくれた米山を次の世代にしっかりと継承できるように、今後の管理体制について検討を重ねていく。

**柿崎区新保育園建設地の交通安全対策を**

**問**／建設地を柿崎体育館跡地に決定した経緯は。

**答**／災害に対する安全性や交通アクセスなどを考慮した。保護者や地域住民に説明し、大勢の賛同を得たことから建設地として決定した。

**問**／建設地に接する国道・市道は、通勤車両等が多いが、通園時の交通安全対策はどうか。

**答**／安全確保の徹底を図るため、関係機関と検討を進めていく。



**市民の健康増進に保健  
センターの活用を**



**問**／市内9か所の保健センターは、立地的に良い場所にあるが、利用の1/4は保健指導や相談業務で、それ以外は福祉・市民活動である。市民の健康増進を目指すのであれば、市民が気軽に立ち寄れて、自身の健康に関心を持てるような場所であるべきではないか。そのためには、健康に関する多種多様な民間事業者との事業や、複合施設としての使い方も必要と考えるがどうか。

**答**／人口減少や健診会場の集約化などで、施設利用は徐々に変化してきた。空きスペースは外部団体への貸付けを行っており、民間活力導入の考えはない。民間事業者、市民団体に関わらず、施設利用の希望があったとしても、公民館などの貸館もあるため、需要は賄えると考える。民間の施設を活用して、健康に関心を持ってもらうスペースについては検討していきたい。

**大規模リゾート開発構想への備えを！**

**問**／今後の広域観光を見据え、観光振興課、魅力創造課、上越観光コンベンション協会はどのように連携していくのか。

**答**／魅力的な観光地域づくりのためには、自治体の境界を越えた広域的な観光戦略が重要になる。各々の魅力を組み合わせ発信し、各自治体の不得意分野を互いに補完することや、連携して人を呼び込み活性化を図ることなどが考えられる。既に県や近隣自治体と連携した取組を進めているが、インバウンド対応の視点等からも、今後一層広域連携の推進が必要であり、市内事業者の方々の協力や相互連携が不可欠である。上越観光コンベンション協会と市は、観光施策の両輪であり、広域観光推進に向けた連携体制として、自治体間の連携を市が、民間企業の連携を上越観光コンベンション協会が担っている。今後も役割を果たしつつ連携していく。



### 行政改革の推進を

江口 修一（久比岐野）



問／行革の推進は歳出削減にあるのではないか。  
答／行政改革推進計画に基づき、全ての事務事業を評価し、目標を定めて歳出削減を図る取組を行ってきた。

植木市政時代は交付税が潤沢な時代 2005年合併時には交付税は14市町村分あったが、約50億に交付税が減った。  
1990年日本の「バブル経済」で日本は「土地神話」に翻弄された。1997年バブル崩壊で、長期の不況に突入した。就職氷河期時代！  
木浦市政からは緊縮財政に入り土地開発公社の約300億円の借入金返済でハード事業はできない。村山市政でも徹底した行革推進をした。



### 学校の情報環境の整備状況は

平良木 哲也（日本共産党議員団）



問／学校の情報環境の整備状況はどうか。  
答／据置型ルーターやモバイルルーターを活用し、特別教室を含め、令和5年度までに整備した。  
問／体育館では生徒総会や学年集会、PTA総会でも活用できると思うが、対応しているか。  
答／体育館では機能面で劣るモバイルルーターを使用しているため対応していない。現場と意見を交わして必要性を見極めたい。  
問／せっかく多くの児童生徒が校内のルーターに同時に接続できても、学校と外を結ぶ回線の容量が小さいため、インターネット接続に限界があるのではないかと懸念があるがどうか。  
答／持ち帰って調査する。

### 中学校部活動の地域移行の状況は

問／部活動の種類による進捗度の差はないか。  
答／スポーツ分野で先行している。文化芸術分野では、吹奏楽と美術の分野で具体的な地域クラブの整備に向けた検討を行っている。  
問／吹奏楽では様々な課題があるが、保護者負担は他の分野と同じように生ずる方向か。  
答／大前提として、学校の部活動と地域のクラブ活動は一緒に考えられないことがある。学校では平日の部活動は残る。地域クラブは土日の移行に限定しての話だ。教職員の働き方改革では、週3日以上の休養日をつくる。



### 保倉川放水路整備の進捗と住民への対応は

草間 和幸（久比岐野）



問／保倉川放水路整備の進捗はどうか。  
答／保倉川放水路の事業期間については、国から、抜本的な治水対策として必要不可欠な施設であり、最も重要な施策としてできる限り速やかに整備を進めたいと聞いている。流域住民の生命、財産を守るとともに、集積する多くの企業の経済活動の活性化に向けて、一刻も早い放水路の事業化を国に強く働きかけていく。  
問／整備予定地内の将来設計に不安を抱えている住民に対し、どう対応していくのか。  
答／地域住民との意見交換では、依然として心配する声を耳にしている。このため、市では地域コミュニティへの影響の軽減を目的として、令和5年4月に「保倉川放水路沿川まちづくり推進室」を設置し、周辺地域のまちづくりを着実に進める体制を整え、「まち」の骨格となる道路ネットワークの検討や家屋移転の代替地の必要性などについて、町内会の役員と話し合いを行っている。今後引き続き、沿川住民に寄り添い、丁寧な話し合いを重ねながら、地域との合意形成に向けて、しっかりと取り組んでいく。



保倉川放水路整備予定地



### 学歴差別などの不適切発言は許されない

橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／令和6年6月の学歴差別ともいえる発言は、令和5年7月の発言と無関係とは思えない。学歴差別の意識、公立と私立の高校の差別的な意識があったのではないか。令和5年7月には謝罪・反省して、二度と問題を起こさないと決意をしたのに、なぜ令和6年6月に不適切発言が出てくるのか。  
答／私には学歴差別の考え方はないし、学歴によって評価されることはあってはいけないと考えている。  
問／それだと答えになっていない。どうして差別的な発言を繰り返したのか、自己分析が必要なのではないか。その分析に立った答弁をせよ。  
答／私の発言が学歴差別発言と受け止められてしまったことについては、猛省しなくてはならない。  
問／そう言うのであれば、なぜ不適切発言が続いたのか。その要因を整理して、我々にも説明すべきではないか。私たち日本共産党議員団では、学歴で人を判断する歪んだものの見方がある点などの3点で分析したが、あなたの分析とどう違うか。反論があるなら述べてほしい。  
答／繰り返しになるが、学歴で判断せず多様な方々が様々な場面で活躍する姿が望ましいと思っており、その考え方は変わっていない。



### 公平な食材の入札と給食無償化を目指して

高山 ゆう子（市民クラブ）



問／給食用食材について、県内他自治体は規格のみで入札するが、当市はメーカー指定が多いのはなぜか。どこでメーカー指定が決まるのか。  
答／栄養職員10人で、安全性や産地、調理作業のし易さ等を考慮し、毎月の献立会議で決めている。  
問／メーカーを指定すると、実質的に制限がかかり一社だけの応札で自由競争にならない。入札による公平性を重視するならば、特定メーカーだけに拘らず、国産品の類似サンプルで調理試食し、成分や価格の検討を行うべきではないか。  
答／地元、県産、国産を加味している。  
問／糸魚川市のように、食材納入業者と意見交換をしようか。  
答／学校栄養教職員と検討したい。  
問／米、パン、牛乳の基本物資について、給食会が配分機関となっていること、保護者負担が増えているのではないかと、保護者負担により、現在、牛乳のみ配分機関となっているが、保護者負担には繋がらない。  
問／給食会は公益財団法人である。平成12年にできた県の方針やその役割を見直すべきでは。  
答／評議員として今後、会議で伝えていきたい。  
問／県内では4自治体が給食費無償化を実施している。未来を担う子どもたちを支えていくために、国や県に無償化を働きかけて欲しい。  
答／具体的な施策を示すよう、要望していく。



### 編集後記

爽りの秋となりましたが、農家の皆さんにとっては豊作の年となったでしょうか。市議会では昨年度の財政運営を審議する9月決算議会が開かれ、無事審議を終えました。本年度の後半に向け、市民の皆様との更なる対話の機会を設けてまいります。

広報広聴委員会副委員長 櫻庭節子

次号は、令和7年1月25日発行です。

### 次の定例会は

令和6年 12月4日(水)～

総括質疑	12月4日(水)
委員会	12月5日(水)～10日(火)
一般質問	12月11日(水)～16日(月)
採決	12月18日(水)

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

### 表紙の写真

なおえつ うみまちアート 2024 が8月24日から9月16日まで開催されました。作品名「NAOETSU TO NOTO」(写真左奥)、「チタンの窓 2024」(写真中央手前)

# あなたの意見

## お聞かせください！



2024 秋  
No.225

令和6年10月25日発行



### ご意見を聴く会

11月5日(火) 18:30 - 20:00

【会場】春日謙信交流館

11月7日(木) 18:30 - 20:00

【会場】名立地区公民館

議員が地域に出向き、ご意見を伺います！  
申込みは不要です。



ホームページ



本会議  
動画配信



委員会  
動画配信



Facebook

### 議員と気軽にトーク @上越教育大学

11月6日(水) 13:00 - 14:30

【会場】上越教育大学 大学会館 2階

5分だけでも参加OK！気軽にご参加ください！  
申込みは不要です。



発行／上越市議会  
編集／広報広聴委員会

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3  
☎025-520-5805

### わたしたち 市議会議員とお話しませんか？

わたしたち上越市議会は、  
市民の皆様のご意見を市政に届けるのが仕事です。  
この度、皆様のお近くにお伺いして  
ご意見をお聞きする機会をつくりました。  
皆様の声をぜひお聞かせください。

